

2団体の3事業審査

大牟田市まちづくり
まちづくり基金
後日、可否を決定

大牟田市まちづくり基金事業審査委員会が十三日、同市役所北別館で開催され、申請者が委員たちを前に事業計画や内容を説明。二団体からの三事業の申請についての審査がおり、この日の結果を踏まえて後日、市が補助金交付の可否や額を決定する。

この日、審査されたのは、まちづくり施設等整備事業（ハード）が大牟田銀座通商店街振興組合の「まちなかシリコンバレー」事業と大牟田大蛇山祇園継承会の中心地区商店街活性化空き店舗活用「大蛇山ミュージアム」と街なか交流施設設置「事業の二件。まちづくり活動等事業（ソフト）が同振興組合の「まちなかシリコンバレー」事業の一件。「まちなかシリコンバレー」事業は、銀座通り商店街の空き店舗を改修、一階を学生と市民が交流するサロンとして活用し、二階は

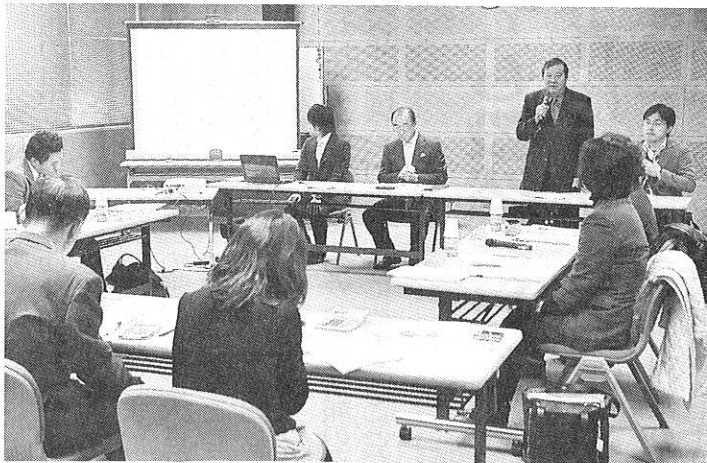
IT系企業の誘致をして商店街の活性化を図るといふもの。

総事業費はハードが二百五十三万円、ソフトが六十三万九千円。これに対し百五十六万四千円（ハード）、四十六万三千円（ソフト）の補助を申請した。

「大蛇山ミュージアム」と街なか交流施設設置「事業は、中心地区商店街の空き店舗を改修し、一階は大蛇山関連の写真等の展示を行う。観光資源を紹介する予定。トイレも設置し、来街者の休憩所として利用する。二階は貸しスペースとしてサークル活動などに活用する。

総事業費は二千七十九万円。補助金申請はハードのみで、千五百八十四万円の申請となっている。

（小柳 聡）



事業計画を説明する申請者